

わくわく探検隊！ 海を越えて旅する蝶！ アサギマダラ観察会



- ◆日時：8月7日(月)※雨天中止
- ◆開催地：デコ平 裏磐梯
- ◆参加費：3,950円
- ◆集合：7:45VIDA集合
8:00VIDA出発
- ◆解散：16:00VIDA解散
- ◆定員：20名

(応募者多数の場合は抽選になります)

海を越えて旅をする不思議な蝶、アサギマダラ。写真のとおり、とても美しい蝶です。ちょっと本物を見てみたくなりませんか？実は福島県内にあるんですよ、アサギマダラを間近で見られる場所が！それは、裏磐梯のデコ平です。デコ平にはアサギマダラの好物「ヨツバヒヨドリ」（鳥ではなく花の名前です）が群生していて、毎年夏に数万頭がやってくる国内有数のアサギマダラ飛来地として知られています。デコ平には歩いていくこともできますが、『グランデコリゾート』の裏磐梯ロープウェイを利用すると便利です。冬はスキー場「グランデコスノーリゾート」としておなじみのこちらでは、夏休みや紅葉シーズンにもロープウェイを運行しています。磐梯山や猪苗代湖の眺望を楽しみながら、約15分の空中散歩で標高1,390mの山頂駅に到着します。山頂の平均気温は夏でも23℃。涼しい風が心地よく吹き抜けていきます。山頂駅から少し歩くと、ヨツバヒヨドリの群生地があります。夏の高原に広がるピンク色の花畑。もうこれだけでも十分すぎるほど美しい風景です。国内有数の飛来地、写真のようにヨツバヒヨドリの花に止まって蜜を吸う姿や、花畑の上をふわりふわりと優雅に舞う姿がこちらで見られます。アサギマダラたちはおっとりとした性格なのか、人間が近づいてもすぐに逃げないので、意外と近くまで寄ってじっくり観察できます。よく見ると翅の浅葱色の部分は半透明であることがわかります。淡い水色が光に透けて、まるでステンドグラスのような美しさです。アサギマダラは春に、南西諸島や台湾から本州へとやってきて産卵。羽化した成虫は、夏になるとデコ平などの涼しい高原に移動します。デコ平には毎年7月下旬に飛来し、9月上旬ごろまで滞在。その間にヨツバヒヨドリの蜜をたっぷり吸って栄養を蓄え、夏の終わりとともに南へと旅立っていくのだそうです。グランデコリゾートでは毎年「アサギマダラ観察会」を開催。その移動の実態を調べるため、捕獲した蝶の翅に「デコ」の地名や日付などを油性ペンで書いてから再び放しています（「マーキング」といいます）2009年には、なんと2,231km離れた台湾北部で「デコ」の蝶が確認されたそうです。大型の蝶といっても翅を広げて10cmほど。この小さな生物が大海原を越えて旅をしている姿を想像すると、なんだか胸が熱くなりますね。好物のヨツバヒヨドリの花畑が広がるデコ平は、アサギマダラたちにとってまさに楽園。長旅の前のひとときを、ゆっくりと過ごしてほしいですね。

【7日行程表】 7:45 VIDA集合 8:00出発>デコ平到着>観察会>昼食>自由探索>VIDA解散 16:00

難易度
★★☆☆☆

持ち物リスト VIDA指定の帽子とリュックサックで参加 ・今回は半袖、長ズボンが適しています。靴下は足首が出ないように(草の茂みに入るため)

1	着替え一式・タオル・ティッシュ	1組	下着類含めすべて(着替えは半袖・半ズボンで可)
2	レインウェア	1	上下別になっているもの。
3	レジ袋	大1・小2	大 濡れたものを入れます。 小 ゴミを入れます。
4	ナルゲンボトル(軽いもの)もしくはペットボトル	1	肩掛けの保冷水筒は不適。軽くて丈夫なナルゲンボトル、もしくはペットボトルにして、リュックサックに入れてきてください。ペットボトルの場合も必ず記名すること。中身は常温の水にしてください。野外活動では目にゴミが入った場合や、怪我した箇所を洗い流すとき、水場がないときに利用できます。
5	お弁当		食べ残しは持ち帰ります。
6	おやつ	適	

前日までに、VIDA指定の帽子とリュックサックに装備品を入れて配布しますので、自分のものとわかるキーホルダー等付けて参加してください。プログラム終了後早めにご返却ください。
【キャンセル規定】 ■実施日の14日～8日前 20% / 7日～3日前 30% / 2日前 40% / 前日 50% / 当日 100% *各プログラムとも気象条件などにより日程の変更や中止になる場合があります。

お申込み
お問合せ
連絡先



<本部> 〒971-8172 福島県いわき市泉玉露3丁目13-13
<神奈川支部> 〒259-0102 神奈川県中郡大磯町生沢379-11
TEL 0246-88-6370
Mail info@vida.jp.net



ホームページもご覧下さい